

項目	内容
名称	マンゴスチン [英]Mangsteen、mangosteen、purple mangosteen [学名]Garcinia mangostana L.
概要	マンゴスチンは、東南アジア原産で東南アジアから南アジア、中南米で栽培されている常緑高木である。果実は、「果物の女王」と言われるトロピカルフルーツで、皮をはぎ生食されている。
法規・制度	<ul style="list-style-type: none">■ 食薬区分<ul style="list-style-type: none">・マンゴスチン (Garcinia mangostana) 果皮：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。■ 食品添加物<ul style="list-style-type: none">・天然香料基原物質リスト マンゴスチンが記載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none">・キサントン誘導体 (カラバキサントン、マンゴスタノール、マンゴスチノンC、クラトキシキサントン、ガルシマンゴキサントンB、ガルシノンA~D、マンゴステノンA~C) などを含む (102)。・果皮は、タンニン (102)、α-マンゴスチン (PMID:29268971) を含む。

分析法

・皮中のα-マンゴスチンをHPLC、NMRにより分析した報告がある
[\(PMID:29268971\)](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/29268971/)。

有効性

循環器・呼吸器	<p>RCT</p> <p>・成人女性38名（試験群19名、平均43.1±10.3歳、日本）を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、マンゴスチン果皮熱水抽出物（ロダンテノンB 0.078%含有）200 mg/日を12週間摂取させたところ、血液検査値（ヘモグロビン、MCV、MCH、MCHC）の上昇、血小板の減少が認められた。一方、動脈硬化の指標（動脈圧指数、動脈脈波速度指数）、体重、体脂肪率、BMI、血圧、心拍数に影響は認められなかった（2019173565）。</p>
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトでの評価	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	<p>RCT</p> <p>・肌のたるみ、くすみの自覚症状のある成人女性38名（試験群19名、平均43.1±10.3歳、日本）を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、マンゴスチン果皮熱水抽出物（ロダンテノンB 0.078%含有）200 mg/日を12週間摂取させたところ、角層水分量の増加が認められた。一方、経表皮水分蒸散量、AGEs（ペントシジン）に影響は認められなかった（2019173565）。</p>
参考文献	<p>(30)「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)</p> <p>(101) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修</p> <p>(102)健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規</p> <p>(2019173565) Glycative Stress Res. 2018;5(2):95-103. (PMID:29268971) Asian Pac J Trop Med. 2017 Dec;10(12):1154-1160.</p>